

報道関係者各位

IQVIA ジャパン トップライン市場データ ＜2024 年会計年および 2025 年第 1 四半期＞

- 24 年会計年は 4 年連続の前年比増で、05 年発表開始以来の最高額となる 11 兆 4,874 億 06 百万円（1.0%増）
- 25 年第 1 四半期は前年比 0.6%減で 2 兆 6,637 億 56 百万円
- 24 年会計年（24 年 4 月－25 年 3 月）：11 兆 4,874 億 06 百万円（1.0%増）
 - ✧ 市場別では「病院（病床 100 床以上）」5 兆 4,163 億 09 百万円（前年比 1.6%増）、「開業医（病床 100 床未満）」2 兆 1,551 億 08 百万円（同 1.9%増）、「薬局その他」3 兆 9,159 億 90 百万円（同 0.2%減）
- 25 年第 1 四半期（1－3 月）：2 兆 6,637 億 56 百万円（0.6%減）
 - ✧ 市場別では「病院」1 兆 2,514 億 69 百万円（前年比 0.4%増）、「開業医」4,787 億 75 百万円（同 2.8%減）、「薬局その他」9,335 億 12 百万円（同 0.8%減）

IQVIA ジャパン グループは、2024 年会計年（24 年 4 月－25 年 3 月）と、2025 年第 1 四半期（1－3 月）の日本医療用医薬品市場（薬価ベース）を、「IQVIA ジャパン トップライン市場データ」として 2025 年 5 月 22 日に発表しました。

IQVIA ジャパン グループでは、日本のヘルスケア産業の発展と透明性の創造、および社会の皆様には日本のヘルスケア市場についての理解を深めていただくため、市場規模や薬効、製薬企業および医薬品の売上、処方、疾病に関するトップラインデータをメディアや医療・医学の研究に携わっている学術研究機関へご提供しています。当社はトップラインデータの開示により皆様と情報の共有化を図ることで、日本のヘルスケアの発展への貢献を目指しています。

【25 年会計年（24 年 4 月－25 年 3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の日本医療用医薬品市場は、4 年連続前年増（1.0%増）で 11 兆 4,874 億 06 百万円で 2 年連続の 11 兆円台で、2005 年にトップライン市場データ発表開始以来、会計年として最高額となった。05 年会計年の市場は 7 兆 7,471 億 97 百万円であり、24 年会計年までに 148.3%（3 兆 7,402 億 09 百万円）拡大。

- 売上げ上位 10 薬効*は、薬効首位が「**L01 抗腫瘍剤**」で 1 兆 9,737 億 02 百万円（0.7% 増）と 2 兆円台を目前に微増。今期も大きく成長したのは「**7 位 J07 ワクチン類（含トキソイド）**」で 3,418 億 30 百万円（42.9 %増）。一方「**5 位 J05 全身性抗ウイルス剤**」は 3,945 億 55 百万円（-25.6%減）で大きく下落。
- 売上げ上位 20 社（販促会社レベル**）は、21 暦年（1－12 月）で初めてトップになった**中外製薬**が同様に、21 年会計年以来 4 年連続トップで 5,343 億 35 百万円（1.0%減）。売上高上位 20 社中、前年比 20%超の高成長を記録したのは、8 位の**ファイザー**3,192 億 08 百万円(26.1%増)、20 位の**ツムラ** 1,932 億 13 百万円(22.1%増)の 2 社。最大の減少率は 16 位の**小野薬品工業** 2,229 億 73 百万円（13.2%減）。
- 売上げ上位 10 製品では、**キイトルーダ** 1,917 億 89 百万円(16.3%増)が 2 年連続二桁成長でトップ、最大の伸び率は 10 位**エンレスト** 889 億 93 百万円(47.7%増)。次に 4 位**デュピクセント** 1,217 億 56 百万円（40.5%増）が続く。一方、前年を下回ったのは 3 位**オプジーボ** 1,367 億 23 百万円(16.9%減)、8 位**イミフィンジ** 1,031 億 92 百万円(14.5%減)の 2 製品のみ。

【2025 年第 1 四半期（1－3 月）】日本医療用医薬品市場トピックは以下の通りです。

- 当該期間の**日本医療用医薬品市場**は、2 兆 6,637 億 56 百万円。2 期ぶりの前年減で 0.6% 減。
- 売上げ上位 10 薬効では、薬効首位は「**L01 抗腫瘍剤**」4,627 億 37 百万円(0.7%増)、2 位「**A10 糖尿病治療剤**」1,848 億 70 百万円（9.7%増）、3 位「**L04 免疫抑制剤**」1,488 億 92 百万円（0.3%増）で、この順位は 23 年第 4 四半期から 6 期連続。最大の伸び率は漢方薬を含む 8 位「**V03 その他の治療を目的とする薬剤**」738 億 38 百万円（16.4%増）、最大の減少率は 6 位「**J05 全身性抗ウイルス剤**」842 億 65 百万円（37.0%減）。
- 売上げ上位 10 製品では、トップは**キイトルーダ**で 474 億 76 百万円（16.2%増）。前期（24 年 10－12 月）でトップだった**コミナティ**は今期ランクアウト。最大の伸び率は 7 位の**エンレスト** 252 億 24 百万円（56.6%増）、最大の減少率は 3 位の**オプジーボ** 302 億 55 百万円（20.6%減）。

◇ IQVIA の医薬品市場統計は、1965 年にご提供を開始した JPM（Japan Pharmaceutical Market）において半世紀以上にわたり、データ精度の検証と向上を目的に購読企業各社のご協力を得て、弊社と当該企業各社の売上データの整合性を検定し、その年次結果はフィードバックさせていただいております。

◇ IQVIA の日本医薬品市場統計（JPM）は医薬品卸を介した流通情報を基礎データとしているため、通常の医薬品とは流通が異なる場合 IQVIA の医薬品市場統計へは反映されません。

*** IQVIA ジャパン「医薬品市場統計」における「薬効」は ATC 分類に準拠しています。**

本項の「ATC 分類 (Anatomical Therapeutic Chemical Classification) は、EphMRA (European Pharmaceutical Market Research Association: 欧州医薬品市場調査協会) により管理されている、アナトミカル薬効分類 (作用部位別薬効分類) に準じており、日本医薬品市場統計作成にあたっては、定期的に最新最適な状態に見直しを図っています。

****IQVIA ジャパン「医薬品市場統計」の「販売会社レベル」と「販促会社レベル」の定義は以下の通りです。**

- 販売会社レベル: 卸店に対して製品を販売し、その代金を回収する機能を持つ製薬企業
- 販促会社レベル: MR による情報提供活動を通じて販促活動を行なっている製薬企業

IQVIA について

IQVIA (NYSE:IQV) は、臨床研究サービス、コマーシャルインサイト、ヘルスケアインテリジェンスをライフサイエンスおよびヘルスケア業界に提供するリーディング・グローバル・プロバイダーです。IQVIA のソリューションポートフォリオは IQVIA Connected Intelligence™ のアプローチを基盤としており、質の高い健康データ、Healthcare-grade AI®、高度な分析、最新のテクノロジー、そして広範な専門知識に基づく実用的なインサイトとサービスを提供しています。IQVIA は、ヘルスケア、ライフサイエンス、データサイエンス、テクノロジー、オペレーショナルエクセレンスの専門家を含む約 88,000 人の従業員を 100 か国以上に擁し、革新的な治療法の開発と商業化を加速させることで、世界中の患者アウトカムと公衆衛生の改善に尽力しています。

IQVIA は、患者個人のプライバシー保護におけるグローバルリーダーです。当社は、医療関係のステークホルダーが疾患パターンを特定しより優れたアウトカムを得るために要される正確な治療経路や治療法と関連付ける規模の情報を生成・分析する一方で、個人のプライバシーを保護するために、プライバシーを強化するさまざまなテクノロジーやセーフガードを採用しています。また、IQVIA のインサイトと実行力は、バイオテクノロジー、医療機器ならびに製薬企業、医療研究者、政府機関、保険者やその他の医療関係のステークホルダーが、疾患や人間行動、科学の進歩をより深く理解し、治療に向けた道程を前進させる支援をしています。IQVIA の詳しい情報はこちら (www.iqvia.com) をご覧ください。

本件に関するお問合せ先

IQVIA ジャパン グループ
広報マーケティング統括部
広報担当
Email jp.coms@iqvia.com